

能登半島地震 募金

～離れていてもできること～

1月25日（木）、1月26日（金）の2日間、生徒会執行部で考えて、能登半島地震の被災された方に何か手助けをしたいということで、募金活動を実施しました。事前に全校生徒に呼びかけをして、両日の朝、生徒会執行部が募金箱を



もって、活動しました。志方中で生活している生徒や教職員だけでなく、家庭の分も預かってきましたとたくさんの方の協力をえることができました。

「昨日もしたけれどももう一度」とか。「家族の分もです」とか。「もうお

こずかいなくなっちゃった」とか。自転車をとめてかばんの奥から出してくれる人。その自転車が倒れたりしながらでも。みんなが何かできることはないかと思っていた思いを「募金」という形で協力してくれました。





生徒数の少ない学校なので募金も少ないかもしれないけれどという思いもあったそうですが、8万円以上のお金が寄せられたことに、生徒会執行部のみんなも驚きました。そんなたくさんの方の思いのこもった募金ですが、1月30日に

加古川市社会福祉協議会に生徒会長と副会長で手渡してきました。社会福祉協議会は、全国にある組織で日本の地域福祉の要といわれます。主な仕事は①福祉に関する相談・支援②在宅福祉



サービス③地域活動のサポート④災害ボランティアなどです。募金なども窓口



として受け入れをされ、信頼できる組織です。応接室で募金の経緯や取り組みなどを生徒会長・副会長から話した後、募金を手渡しました。大切に確実に被災地に届けますという言葉もいただきました。この様子は、加古川市社会福

祉協議会のホームページだけでなく、社会福祉協議会だよりも掲載されるそ

うです。

全校生徒の皆さん、ご協力ありがとうございました。志方中みんなの力を結集すれば大きな力になることも実感することができました。

生徒会執行部の皆さん、何か支援したいというみんなの思いを形にしてもらったこと、本当にありがとうございました。協力できたことで清々しい気持ちにさせてもらいました。これからもそんな活動を継続してください。

協力いただいたすべての皆さん、本当にありがとうございました。